



フリデリク・ショパン《エチュード
へ長調 作品10の8、自筆譜（製版用）
1836年以前 NIFC



タデウシュ・ウオビェンスキ
《フリデリク・ショパンの左
手像》1968年鑄造 NIFC



マルチン・ザレスキ《ワルシャワ、
19世紀中頃 国立ワルシャワ博物館
聖十字架教会の祭壇》



ショパン 200年の肖像

これまでのショパン
これからのショパン

Portrayed in 200 Years of Images CHOPIN

ピアノの詩人のすべて

2月1日(土)から3月22日(日)まで

久留米市美術館は、ワルシャワの国立フリデリク・ショパン
研究所附属フリデリク・ショパン博物館（NIFC）の協力で、「ショ
パン 200年の肖像」展を開催します。日本初公開となる貴重な
自筆譜など多彩な資料や、美術作品、書籍約250点を展示します。



生涯に迫る企画展

繊細な調べで知られる作曲
家、フリデリク・ショパンは1
810年、ポーランドに生まれ、
わずか7歳で「ポロネーズ第11
番」短調」を作曲。39歳で亡く
なるまでに「ノクターン第2番」
や「子犬のワルツ」など200
曲以上を作りました。ピアノの
詩人と呼ばれたショパンの、短
く燃えた生涯と音楽は長く人々
に愛されています。

ポーランドの至宝 久留米に

ショパン自筆の楽譜や、交流
のあったアリ・シエフェールに
よる絵画「フリデリク・ショパン
の肖像」は日本初公開。ポーラン
ドから国外に出ることの少ない
作品を鑑賞できる、貴重な機会
です。

会場には、ショパンが暮らし
たポーランドやパリの風景など
を描いた物や、彼の音楽に刺激
を受けて制作された作品など、
約250点を展示します。

関連イベント

ポーランドの文化と音楽に精通した2人が、若き日
のショパンをトークとピアノでたどります。

【ショパン～誕生から二十歳の旅立ちまで～】**日時** 3
月1日(土) 14時～。開場は13時 **会場** 石橋文化ホー
ル **料金** 全席自由2,000円。大学生以下は1,000円。
チケットは情報サテライト、プレイガイドで販売。公
演チケット提示で、本展会期中1回限り入館無料



ピアニスト・小泉川朗子さん



翻訳家・関口時正さん

昨年10月から全国4会場で巡回
開催されます。

芸術を幅広く堪能

市美術館と文化ホールのある
石橋文化センターは、施設全体
が一つのミュージアム。美術や
音楽など幅広い芸術が楽しめます。
本展は文化センターにふさ
わしい企画展。会期中、ショパン
をテーマにしたコンサートや講
演会などを開催します。

日時 2月1日(土)から3月22日
(日)までの10時～17時。入館は16

時30分まで

入館料 1,000円。65歳以上
700円。高校生以下無料。15
人以上の団体割引あり

休館日 月曜。2月24日(休)は開館

◎久留米市美術館 ☎0942・
39・1131、FAX 0942・
39・3134

市美術館
ショパン展へ

詳しくは
QRコード

